ホタルのふるさと
横浜瀬上沢

認定特定非営利活動法人
ホタルのふるさと瀬上沢基金
会報　№13
2017．3．1
〒234-0054　横浜市港南区港南台 9-30-31
Tel090-6191-1861/ Fax 045-832-9167
E-mail　segamikikin@gmail.com
ホームページ　http://www.segamikikin.org/
県認証番号；N 協第 1083 号
法人登録番号；0200-05-006727

横浜の緑が失われる前に　開発から守ってください

市街化区域の編入は 630ha

過去６回の平均 30ha の 20 倍です。

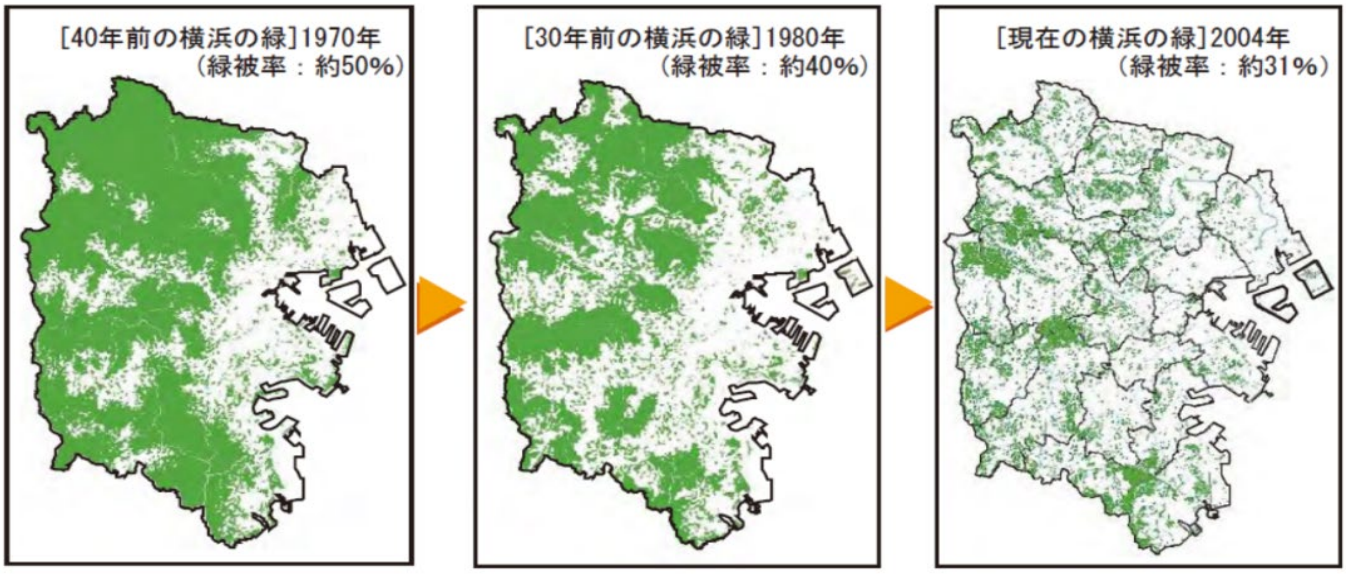


図　横浜の緑の移りかわり

横浜市の緑は 40 年で 40%減

市街化区域と市街化調整区域の線引きを見直す権限が神奈川県から横浜市に移譲されました。それを受けて横浜市は今回大幅に市街化区域への編入を認める案を提出してきました。

市素案に対して、全ての公聴会で反対が多数でした。

整開保 H28.12.16　反対 10 名（全員）
線引き H28.12.16　反対 12 名（全員）
上郷開発 H29.1.17 反対 ６名、賛成５名

素案(案)の市民意見書や説明会でも、反対が圧倒的多数です。それでも横浜市は、原案通りの開発計画を進めています。市民意見無視を看過して良いのでしょうか？

横浜市の計画を審議する都市計画審議会前に実施される公聴会ですが、1/17 に栄公会堂で行われた栄区上郷開発に対する公聴会は、472 席の座席に収まりきらず、会場入り口まであふれていました。

公述内容は、反対 6・賛成 5 と、開発反対の意見が上回る結果となりました。

傍聴の方も開発に反対の意志を持つ人数が圧倒的に多い印象になりました。

反対公述の内容も素晴らしく、今回の公聴会は、市が開発計画を取りやめ全面保全に方向転する十分なきっかけになりうると思います。

※　市街化調整区域―市街化を抑制すべき区域
　　市街化区域―市街化できる区域

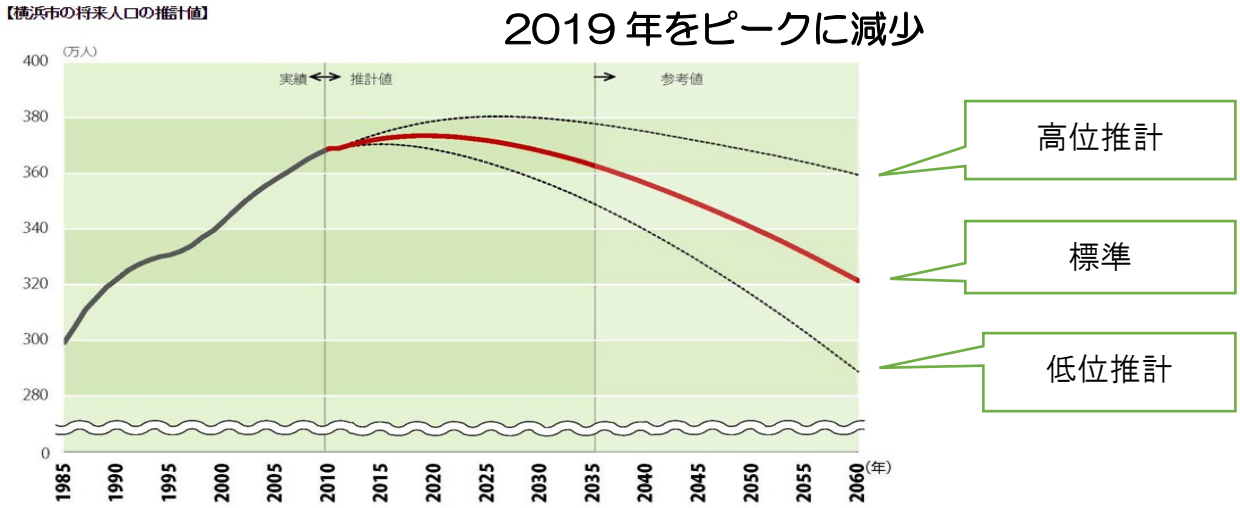
栄区上郷開発を認められない理由

人口減少で宅地開発は抑制

国交省は 2015 年に緑地からの
宅地転換抑制の方針を決定

横浜市の人口は 3,724,844 人（2015 年度国勢調査）市計画の目標年次 2025 年度人口予測は、
横浜市の人口は 3,718,000 人

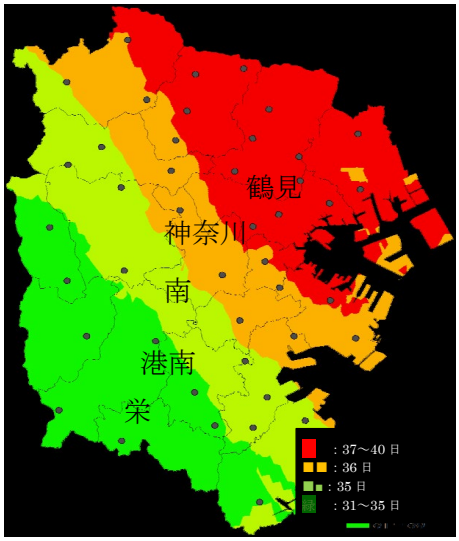
2019 年をピークに減少



横浜市の温暖化は 100 年間で 2.8℃

横浜市の熱帯夜は、市街地の多い北東部は
40 日、緑地の多い南西部は 10 日程度、
暮らしに大きな影響があります。

真夏日　緑 31 日　赤 40 日



熱帯夜　緑 11 日　赤 40 日

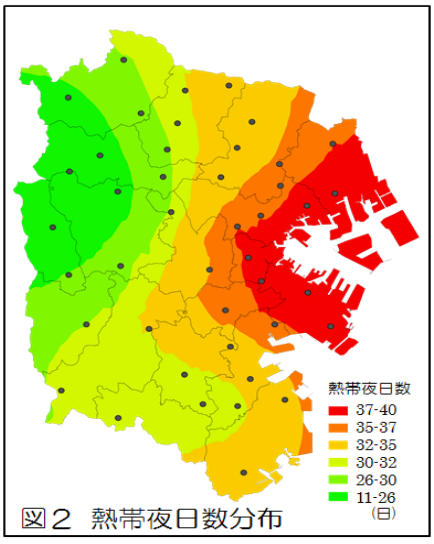


図２　熱帯夜日数分布

平均気温　緑 25.8℃　赤 27.3℃

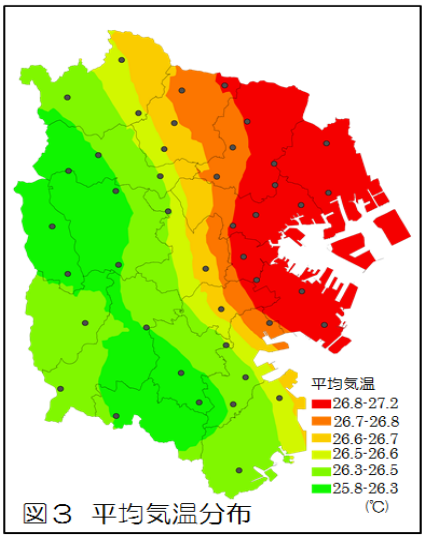


図３　平均気温分布

市民合意がされてない

横浜市が実施した市民アンケートでは、
緑地の維持拡大を望む意見が 98.2%。

整開保・線引き変更公聴会では公述人 22 人全員が反対又は問題あり、
上郷開発公聴会では反対 6 人賛成 5 人と、**公聴会全て反対多数。**
開発反対の署名は、11 万筆以上、
素案(案)縦覧後の、**市民意見**募集では、**反対７、賛成１。**
ホタルの[ふるさと]瀬上沢基金へは、**14,000 名の方から 1,000 万円の寄付。**

1/17 の公聴会で角田理事長が述べた意見です

① 市民意見は、開発反対が圧倒的多数で民意を得られていない
- 反対署名 11 万筆（賛成署名９百筆）
- 素案（案）市民意見書　反対７：賛成１

② 埋め立て地の危険性指摘に対し。東急の不正データを黙認して進めている

③ 人口減少時代に、線引き変更権限移譲後従来比 20 倍もの 630ha を市街化編入

④ 上郷開発が認められれば、恥ずべき前例となり緑地破壊が全国に波及する

⑤ 横浜市は、100 年間で気温が 2.8℃上昇、温暖化防止のために開発中止を

⑥ 横浜で唯一完全な形で残された瀬上沢の谷戸の美しい森を守る英断を

栄公会堂 1/17　公聴会を傍聴して（賛助会員　F さん）

開発計画への賛成意見が多数を占めていることを聞き、開発を止めることの難しさを感じながら参加した公聴会の傍聴でしたが、実際は開発反対の市民意見が賛成を上回り、嬉しい驚きがありました。

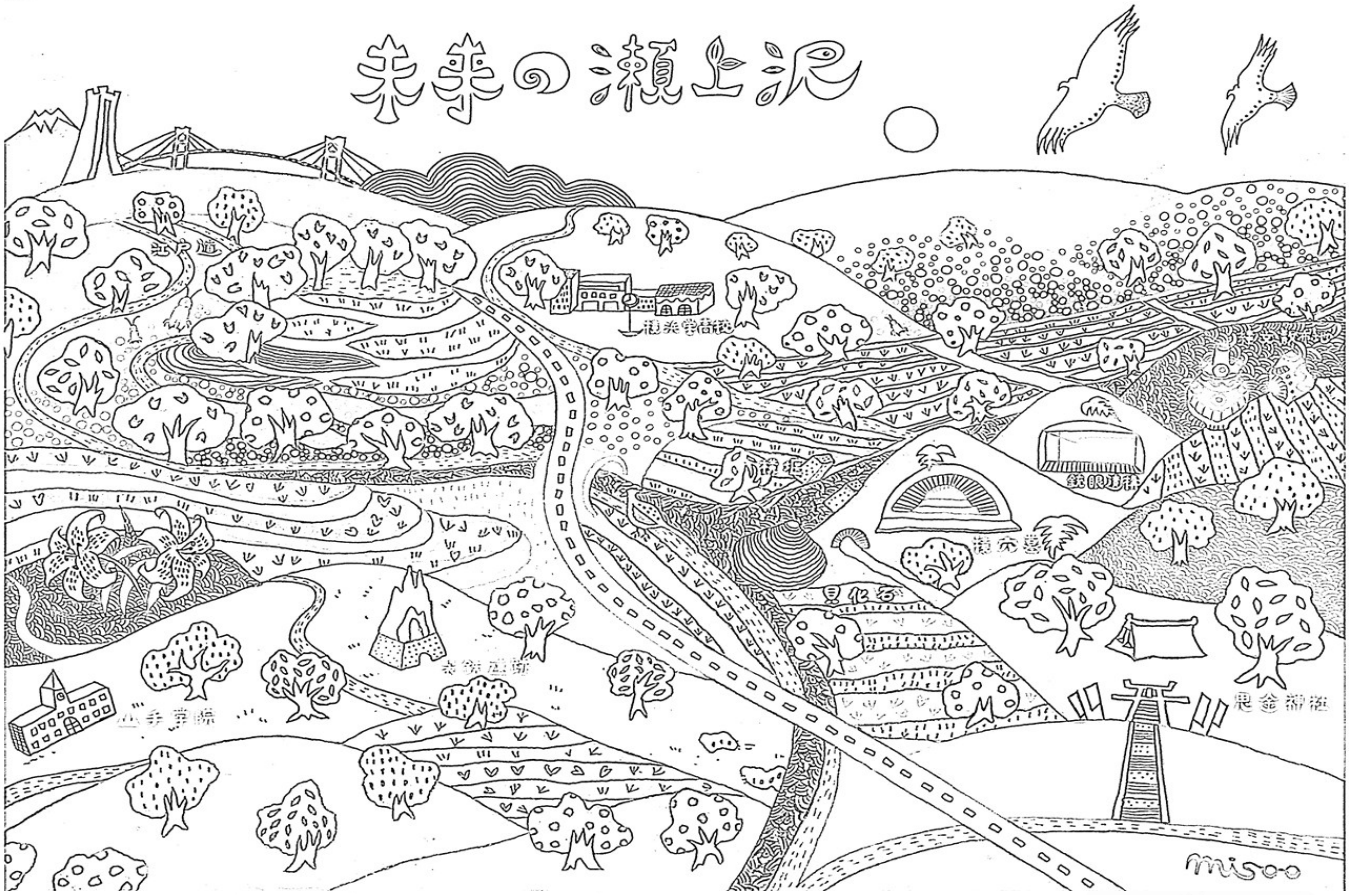
会場の栄公会堂に入ると 20 代、30 代と思われる若い世代の傍聴者で席が埋め尽くされており、瀬上の森への関心の高さを感じました。とはいえ、賛成意見の方が多く陳述されるだろうと思いながらご意見を伺っていたら、意見陳述者 11 人（当日欠席者２人）のうち東急建設の開発計画に反対の意見を述べられた方が６人、開発賛成が５人という予想を覆えす結果でした。そして来場者の多くが開発反対であることは反対意見陳述者への拍手の大きさで明らかでした。

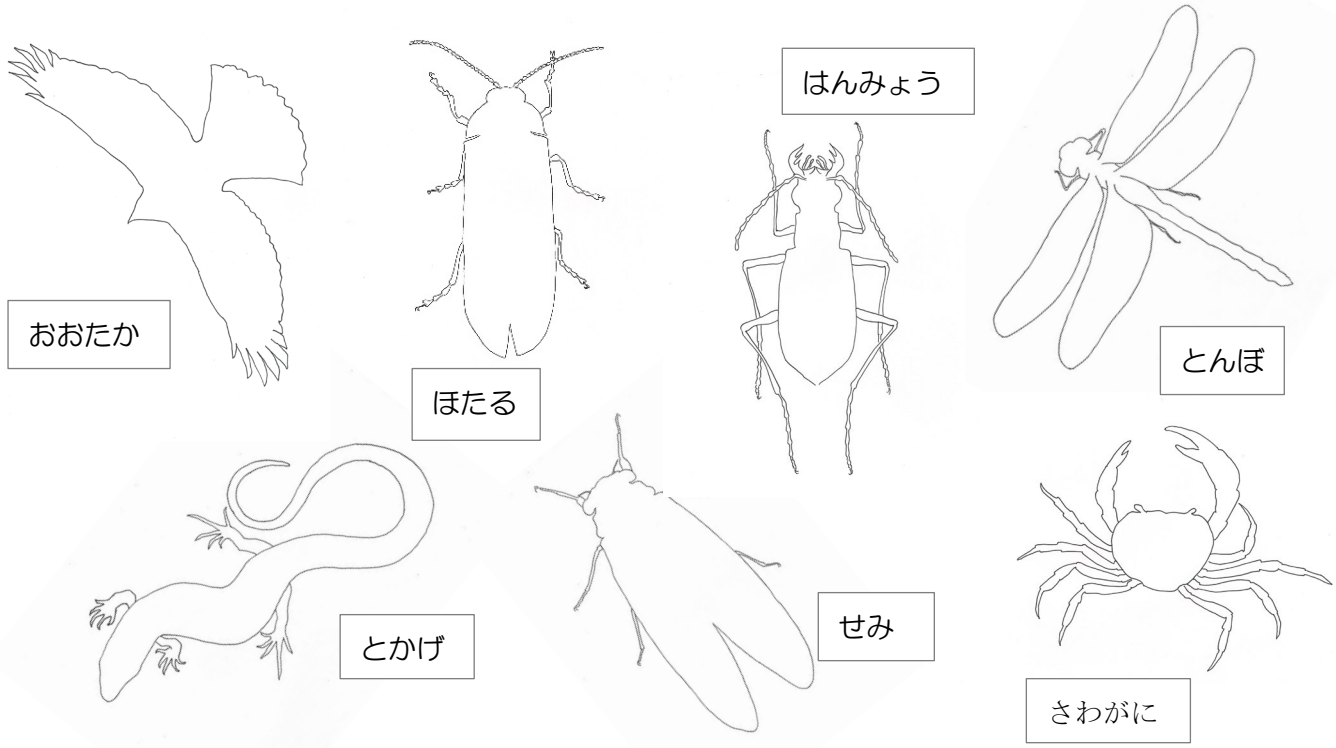
自然に囲まれた学生生活に感謝を述べ、保存を訴えた上郷高校の卒業生や、幼い頃よく遊んだ経験から瀬上の豊かな自然を残したいと訴える若者たちが東急建設の開発計画反対の意見をしっかりと述べてくれました。希少な瀬上の自然を守りたいという思いを強くした公聴会でした。

横浜市はこの市民の思いをしっかりと受け止めてほしいと改めて思いました。

都市計画審議会への働きかけも・・・・公平な審査をしてもらうために、行っています。

未来を塗ってみよう！





※実施中/クリーンアップ：偶数月第２日曜日　10 時～12 時　横浜栄高校校門集合

～ 会員・寄付状況 ～　　2/23 現在

正会員　47 名　法人正会員：1 名
JF 会員：42 名　個人賛助：135 名
法人賛助：2 名　　計 227 名
寄付者　14,414 名
寄付金額　971 万円

～編集後記～

瀬上沢の位置する栄区上郷町、上郷東地区のまちづくり素案がでました。　素敵なまちになるように、意見を募集しています。ぜひ、多くの意見が寄せられるといいですね。（M.F）